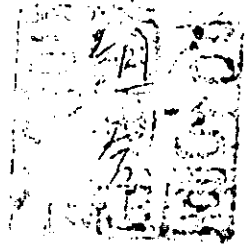


右決議候也

大正拾二年二月八日

名古屋陶業組合



各工場主証認

名古屋陶業解決報告

496

先九日以前十四日間に於て罷業を継続して後に名古屋製  
陶所對本組合の兼議は愈々昨午二月八日午八時迄に双方  
の交渉成立して円満に解決を見るに至りし事なり  
西の四條項に對しては次の如く亦一方四の二條項に於て組  
合より幾分の譲歩を為し文字に條正と云ふは完全なる  
協定なりと実感したる事なり

亦一頂

諸員衆一 標準貸銀單價より日所得二円半以上  
とす

貸銀額

現在貸銀三割を以上の値上を行ふ事  
且て自任作業の結果に依り更に標準貸銀